

●保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

●保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

●ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも速かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

Tel: 0120-860-772
月～金・祝・祭日を除く）10:00-19:00
土・祝・祭日を除く）10:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

●調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合は、別途プリントアウトなどを添付してください。

●使用しているハードウェアについて

●製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。



●お問い合わせ内容について

●どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。
●エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

●ネットワーク構成について

●ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
●他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。



●おことわり

●本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
●予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
●改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
●本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©1998 アライドテレシス株式会社

●商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

●マニュアルバージョン

1998年8月20日 Rev.A 初版
1999年3月18日 Rev.B 改版

調査依頼書(CentreCOM FS702TXR)

年 月 日

一般事項	
1. 御社名:	
部署名:	ご担当者:
ご連絡先住所: 〒	
TEL: ()	FAX: ()
2. 購入先:	購入年月日:
購入先担当者:	連絡先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名: CentreCOM FS702TXR



2. お問い合わせ内容 別紙あり 別紙なし

設置中に起こっている障害 設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図 別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。



この度は、CentreCOM FS702TXR 以下 FS702 と略記します。ご購入いただきまして誠にありがとうございます。このユーザーマニュアルをお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

●製品概要

FS702 は、2 つのポートを持つ Fast Ethernet (100Mbps) スイッチです。2 つのポートしか持たないという点でブリッジと非常に似ており、基本的な使い方もブリッジと変わりません(ネットワークポロジへの適切な個所に導入するだけで複雑な設定は不要です)。しかしながら、FS702 はトラフィックの緩和を目的とする従来のブリッジ 10M としての使いみちだけでなく、10BASE-TX LAN と 10BASE5/2-T LAN の間の通信速度やメディアの変換器としても使用することができます。以下に、FS702 の特徴を挙げます。

- Full Duplex/Half Duplex 切り換え機能
- 10BASE-TX/10BASE-T 切り換え機能
- CASCADE スイッチによりカスケード接続が容易 (PORT1)
- 10BASE-2(BNC)、10BASE5(AUI)ポートを装備
- ストア&フォワード・スイッチング方式
- ネットワークや機器の状態が一目でわかる LED 表示機能付き
- 冷却ファンを内蔵していないため無騒音
- 電源内蔵型

●同梱品一覧

最初に FS702 の梱包箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。

- FS702 本体
- 電源ケーブル(AC100V 用、アース付き 3 ピン)
- 保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- 本ユーザーマニュアル
- シリアル番号シール
- 製品仕様書(英文)

●再梱包

FS702 を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



ケースを外さないでください。
本装置の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対にケースを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されています。



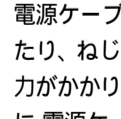
稲妻危険
稲妻が発生しているとき、ケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



正しい電源を使ってください。
本装置は、AC100-240V で動作します。ご使用前に必ずご確認ください。なお、本装置に付属の電源ケーブルは 100V 用であり、他の電圧ではご使用になれません。



正しい電源ケーブルおよびコンセントを使用してください。
本装置に電源を供給する場合には、必ず電源電圧に適合した電源ケーブルをご使用ください。日本国内などで 100V でご使用になる場合は、本装置に付属の電源ケーブルをご使用ください。電源ケーブルのプラグは、接地端子付きの 3 ピン電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントをご使用になった場合にお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。



電源ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源ケーブルを敷設しないでください。



たこ足配線をしないでください。、ケーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



通気口をふさがしないでください。
本装置の通気口をふさがらないでください。通気口をふさいだ状態で本装置を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



取り扱いに丁寧に
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



動作温度
本装置は、周囲温度 0 ~ 40 の範囲でご使用下さい。特に、本装置をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。



異物を入れないでください。
通気口から金属や液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて
本装置の設置や移動、ケーブル配線などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。



次のような場所での使用や保管はしないでください。
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度 80% 以下の範囲でご使用ください)
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュエタンを数いた場所(静電気障害の原因になります)
・腐食性ガスの発生する場所



日常のお手入れ
本装置の汚れは、乾いたやわらかい布でふきとってください。ペンジン、シンナーなどは使用しないでください。変形や変色の原因になります。

(4) 10/100BASE-TX ポート
10Mbps または 100Mbps の UTP ケーブルを接続するポートです。「10BASE-T または 100BASE-TX の切り換え」, 「Full Duplex または Half Duplex の切り換え」は、前面パネルの SPEED および DUPLEX 切り換えスイッチによって行います。

特に、PORT1 の 10/100BASE-TX ポートは、CASCADE スイッチを持っており、他のハブやスイッチとのカスケード接続が容易です。詳細は、後述の「設置・接続・設定」をご参照ください。

(5) CASCADE スイッチ
10/100BASE-TX ポート (PORT1) を他のハブやスイッチとのカスケード接続用ポートとして使用するか、通常のポートとして使用するかを選択します。

(6) 電源コネクタ
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。電源スイッチはありません。電源ケーブルを接続すると、電源がオンになります。

(7) MEDIA セレクトスイッチ
PORT1 のメディアに応じたポートを選択するスイッチです。

(8) SPEED 切り換えスイッチ
UTP ポートの 100BASE-TX または 10BASE-T を切り替えるスイッチです。PORT1、PORT2 ごとに設定できます。PORT1 で BNC、AUI が選択されている場合は、PORT1 の SPEED 切り換えスイッチは無効となります。

(9) DUPLEX 切り換えスイッチ
PORT1 - 2 の DUPLEX モードを切り換えます。上側が Half Duplex (半二重) 下側が Full Duplex (全二重) です。

●LED 表示

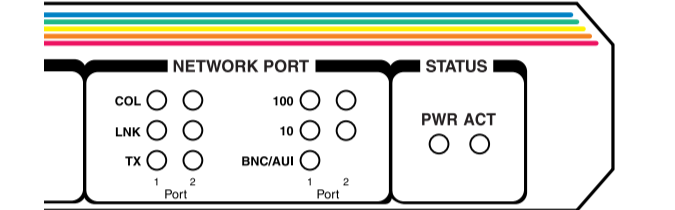


図 2

PWR(緑)
本体に電源が正常に供給されているとき点灯します。

ACT(緑)
本体全体のパケットの送受信が正常に行なわれているときに点滅します。

COL(橙)
該当ポートのセグメント上でコリジョンが発生しているときに点滅します(10BASE-TX/10BASE-T では、Half Duplex モード時のみに点灯)。

LNK(緑)
該当ポートと接続機器とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるとき点灯します。

TX(緑)
該当ポートのパケットの送信が正常に行なわれているときに点滅します。

100(橙)
SPEED 切り換えスイッチが「100」のとき点灯します。

10(緑)
SPEED 切り換えスイッチが「10」のとき点灯します。

BNC/AUI(緑)
PORT1 が BNC ポートまたは AUI ポートに設定されているときに点灯します。

●設置するまえに

●設置場所

水平な安定した場所で、FS702 の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような適切な場所を確保してください。以下のような場所への設置は避けてください。また、FS702 は屋外ではご使用になれません。

●電源

電源電圧に合った適切な電源ケーブルを使用してください。日本国内などで 100V でご使用になる場合は、FS702 に付属の AC 電源ケーブル(アース線付き 3 ピンコネクタ)を使用し、3 ピンの AC 電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルやコンセントをご使用になると、アースが取れず、本体の金属部分に触れたとき感電する恐れがありますのでご注意ください。

●ケーブル

装置間を接続するためのすべてのケーブルが適切な長さであることを確認してください。表 1 に各メディアの最大ケーブル長を示します。

●起動と停止

本体背面の電源コネクタに付属の電源ケーブルを接続し、電源ケーブルのプラグを電源コンセントに接続すると起動し、はずすと停止し

ます。FS702 には電源スイッチがありません。電源ケーブルを接続した時点で電源が ON となりますのでご注意ください。また、電源コンセントに電源ケーブルを接続した状態で FS702 側の電源ケーブルをはずさないようにしてください。感電事故などを引き起こす可能性があります。

●設置・接続・設定

1 FS702 をご希望の場所に設置してください。FS702 の電源はオフにしておいてください(FS702 の電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください)。

PORT1 で選択するポートが BNC の場合は「2」に、AUI の場合は「5」に、10/100BASE-TX の場合は「7」に進んでください。

BNC(10BASE2)

2 BNC ポートにシツイャーケーブルの BNC コネクタを接続します。シツイャーケーブルの BNC コネクタを FS702 の BNC ポートに差し込み、ギザギザの部分を持って押しながら右に回すと、BNC コネクタはロックされ抜けなくなります。

3 前面パネルの MEDIA セレクトスイッチの左側を「BNC/AUI」にし、右側を「BNC」に設定します(MEDIA セレクトスイッチの左側を「BNC/AUI」に設定すると、SPEED および DUPLEX 切り換えスイッチの PORT1 に関する設定は、スイッチ位置に無関係となり 10(Mbps)、Half に固定されます)。図 4 をご参照ください。

4 10BASE2 の接続形態に合わせて背面パネルの TERMINATOR スイッチを ON または OFF に設定します。詳細は、後述の「TERMINATOR スイッチの設定」をご参照ください。手順「12」に進んでください。

AUI(10BASE5)

5 FS702 の AUI ポートに AUI ケーブルのコネクタを差し込み、AUI ケーブルのスライドロックをスライドさせてロックしてください。同様にして、AUI ケーブルのもう一方の端をトランシーバーに接続してください。

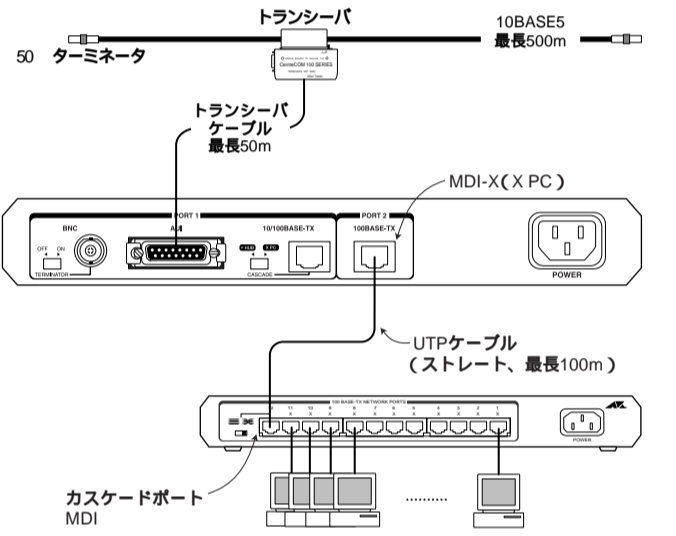


図 3

6 前面パネルの MEDIA セレクトスイッチの左側を「BNC/AUI」にし、右側を「AUI」に設定します(MEDIA セレクトスイッチの左側を「BNC/AUI」に設定すると、SPEED および DUPLEX 切り換えスイッチの PORT1 に関する設定は、スイッチ位置に無関係となり 10(Mbps)、Half に固定されます)。図 4 をご参照ください。手順「12」に進んでください。

10/100BASE-TX(PORT1)

7 10/100BASE-TX ポートに UTP ケーブルを接続します。UTP ケーブルのプラグを 10/100BASE-TX ポートに、カチッと音がするまで差し込み、UTP ケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。同

ケーブルの種類	ケーブルの最長距離
10BASE-T (カテゴリー3/4/5)	100m
100BASE-TX (カテゴリー5)	100m
10BASE2 シツイャーケーブル (5mm径)	185m
10BASE5 (幹線) (12mm径)	500m
10BASE5 (支線) トランシーバ(AUI)ケーブル	50m

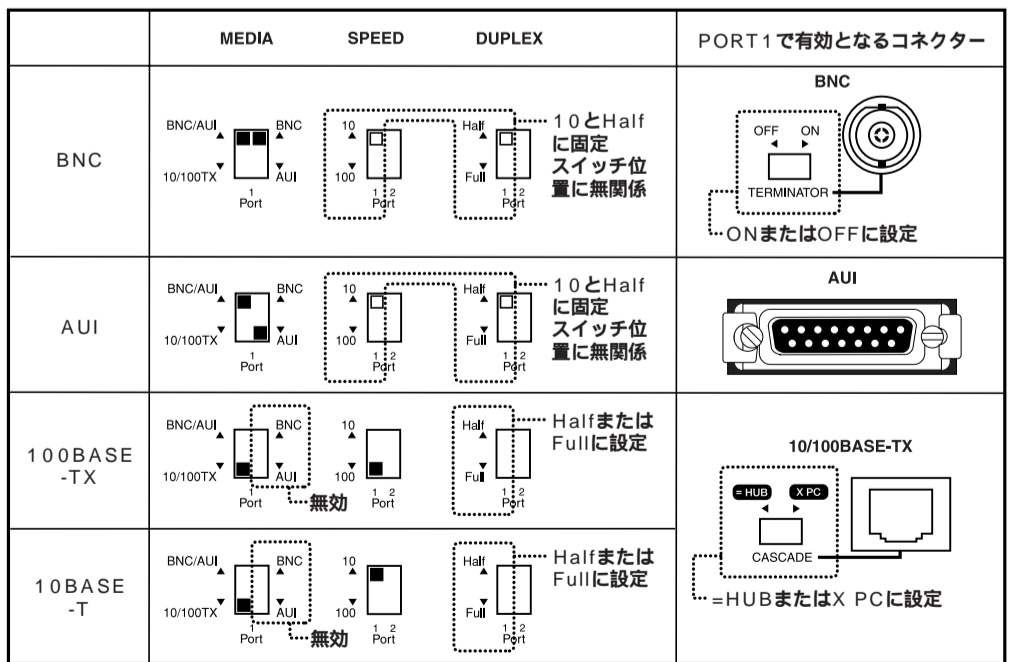


図 4 PORT1 の設定

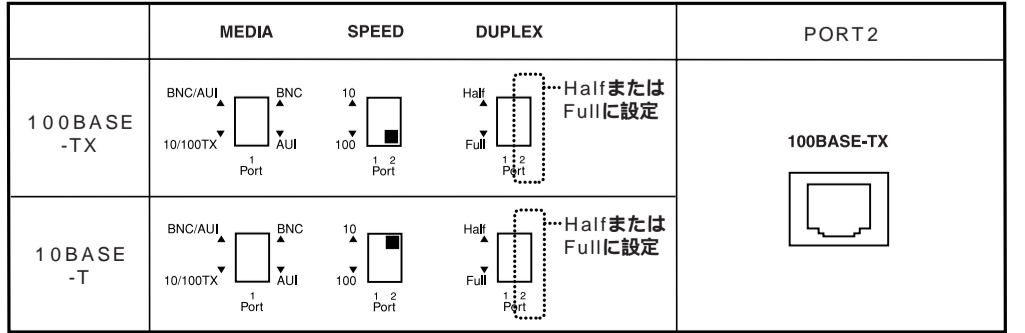


図 5 PORT2 の設定

